

第十六條中「專任百十五人」ヲ「專任百人」ニ改ム
第十七條ヲ削リ第十七條ノ二ヲ第十七條トス
第十八條中「技手專任十二人」ヲ「技手專任九人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

覽

五九
六〇

一 行政機構整備實施ノ爲ニスル内
務省官制中改正ノ件
一 行政機構整備實施ノ爲ニスル防
空總本部官制制定ノ件

右謹テ上奏シ恭シク
聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セラ
レムコトヲ請フ

昭和十八年十月二十一日

内閣總理大臣 東條 英機

内

閣

内務省官制中左ノ通改正ス

第一條第一項中「土木」ノ下ニ「、國土計畫」ヲ加ヘ「、防空」ヲ削ル

第三條中「十九人」ヲ「十七人」ニ改ム

第四條中「五局」ヲ「四局」ニ改メ「防空局」ヲ削ル

第七條第一號中「地方計畫」ヲ「國土計畫、地方計畫」ニ改ム

同條第六號中「、港灣」ヲ削ル

同條第七號中「公有ノ水面」ノ下ニ「（港灣内ノ水面ヲ除ク）」ヲ加フ

第八條ヲ削リ第八條ノ二ヲ第八條トス

第九條 削除

第十條中「專任内務事務官二十二名」ヲ「專任内務事務官十二名」ニ、「專任内務理事官七名」ヲ「專任内務理事官四名」ニ改ム

第十一條中「專任監査官二名」ヲ「專任監査官一名」ニ改ム

第十一條ノ二ヲ第十一條ノ三トス

第十一條ノ二 内務省ニ專任調査官五人ヲ置ク俟テトス上ト官ノ命ヲ承ケ調査ヲ掌ル

第十二條第一項中「專任技師三十名」ヲ「專任技師九名」ニ、「内二人」ヲ「内一人」ニ改ム

同條第二項中「二百二十八」ヲ「百四十七名」ニ改ム

第十二條ノ二第一項中「、港灣一ヲ別ル

第十二條ノ三及第十二條ノ四ヲ別ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前發生シタル災害ニ因ル港灣災害土木ニ關スル事務（直轄工事ニ係ルモノヲ除ク）ニ付テハ運輸通信省官制第一條ノ規定ニ拘ラズ仍従前ノ例ニ依ル

防空總本部官制

第一條 防空總本部ハ内務大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事務ヲ掌ル

一 防空ニ關スル事務

二 防空ニ關スル各廳事務ノ調整統一ニ關スル事務

第二條 防空總本部ニ左ノ職員ヲ置ク

長官

次長

局長

四人

勅任

書記官

專任九人

奏任

事務官

專任二十一人

奏任

理事官

專任十三人

奏任

技師

專任三十二人

奏任 内二人ヲ勅任ト
爲スコトヲ得

屬

專任七十九人

判任

技手

專任六十五人

判任

警防局長ハ内務省警保局長、施設局長ハ内務省國土局長ヲシテ
之ヲ兼ネシム

第三條 前條ノ職員ノ外内務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ
中ヨリ内閣ニ於テ事務官ヲ命ズルコトヲ得

第四條 防空總本部ニ左ノ四局ヲ置ク

總務局

警防局

施設局

業務司

各司ノ事務ノ分掌ハ内務大臣之ヲ定ム

第五條 防空總本部ニ參與ヲ置キ部務ニ參與セシム

參與ハ内務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官ノ中ヨリ内閣ニ於
テ之ヲ命ズ

第六條 防空總本部ニ専門委員ヲ置キ防空ニ關スル専門ノ事項ヲ
調査セシム

専門委員ハ内務大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣
ニ於テ之ヲ命ズ

専門委員ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任

期中之ヲ解任スルコトヲ妨グズ

第七條 長官ハ内務大臣ヲ以テ之ニ充ツ部務ヲ統理シ所部ノ職員ヲ統督シ判任官以下ノ進退ヲ專行ス

第八條 次長ハ内務次官ヲ以テ之ニ充ツ長官ヲ佐ケ部務ヲ掌理ス

第九條 局長ハ上官ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第十條 書記官、事務官及理事官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十一條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十二條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第十三條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第十四條 防空總本部ニ防空研究所ヲ置キ防空ニ關スル研究及防空資材ノ檢定ノ事務ヲ掌ラシム

防空研究所ニ所長ヲ置キ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第十五條 防空總本部ニ防空講習所ヲ置キ防空ニ關スル講習ヲ掌ラシム

防空講習所ニ所長ヲ置キ書記官ヲ以テ之ニ充ツ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ祭現ニ内務省職員ノ職ニ在リテ防空局又ハ防空研究所ニ屬スル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ内務書記官ハ防空總本部書記官ニ、内務事務官ハ防空總本部事務官ニ、内務理事官ハ防空總本部理事官ニ、内務技師ハ防空總本部技師ニ、内務屬ハ防空總本部屬ニ、内務技手ハ防空總本部技手ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼ